

# 二神系譜研究会速報

NO・33  
2009年(平成21)3月16日(月)  
編集・発行／二神系譜研究会常任理事会  
愛媛県松山市光洋台7-34  
TEL・FAX 089(994)2542

## 2009年度(平成21)総会 5月10日(日)北条ふるさと館で開催

二神系譜研究会の今年度総会は、5月10日(日)に北条ふるさと館で開催されることになりました。これは先月開催された第3回常任理事会で決められたものです。松山市河野別府にある北条ふるさと館での総会は一昨年続き二年ぶりの開催で、二神氏にとって第二の故郷とも云える旧北条市にあり、玄関先からは瀬戸内海の安芸灘が眺望でき、山手方面にはかつて河野氏が本拠地とした高縄山や、秀吉の四国攻めの際に二神通範が抗戦した高穴城跡も遠望できる歴史的な場所にあります。また、北条ふるさと館は9年前に二神系譜研究会が発足した歴史的な場所でもあり過去6回、この場所で総会を開いてきました。そこで、今年の総会に期待されるものと意義について考えてみました。

### 結成10周年目に向けての総会

第一に今年の総会は結成10周年を来年に控えての準備の総会であると言えます。2000年3月に正式に発足した二神系譜研究会は来春満10年を迎えます。10周年を記念しての諸行事が企画・予定されていますがその準備のための提案が総会でされます。また、来春は5年に一度の二神氏遠祖の地、豊田郷で開催される「豊田氏慰霊五年祭」の開催年にもあたり、結成10周年記念諸行事との兼ね合いのなかでの取り組みが議論されます。

### 重点調査4系譜を指定

第二に二神系譜研究会結成の目的の中心である系譜の調査・研究の進展状況とその段階についての問題です。昨年度は重点調査系譜として藤原半町、東予、吉木の三系譜を指定し、その内、藤原半町二神氏について中間報告ではありますが一定の結果を出してきました。残る二系譜については年度内での報告は繰り越しとなる予定で、継続調査となりますが、別項報告にもあるように、昨年末になって旧北条市内のお寺で二神栗舎の桜松俳画が発見されたこともあり、急きよ二神栗舎の出自系譜である柳原二神氏を今年度の重点調査系譜として指定することとし、同時に柳原二神氏と関係の深い、片山二神氏も追加することになりました。

### 系譜継続と財政安定化の確保

第三に二神系譜研究会の組織問題についてです。ここ数年間に会員でお亡くなりになられる方が増加傾向にあります。会が結成されて10年近くなったのですから当然と云えば当然ではありますが、会としては、先述の二神系譜研究会結成の目的を実現してゆく上においても組織問題、とりわけ、系譜継続と財政安定化の確保問題は中長期の視点で議論しておかなくてはなりません。

以上の三点が今年の総会で議論されるべき課題であると考えられていますので事前にご報告をさせていただきます。総会で積極的なご意見を頂きますようご案内申し上げます。